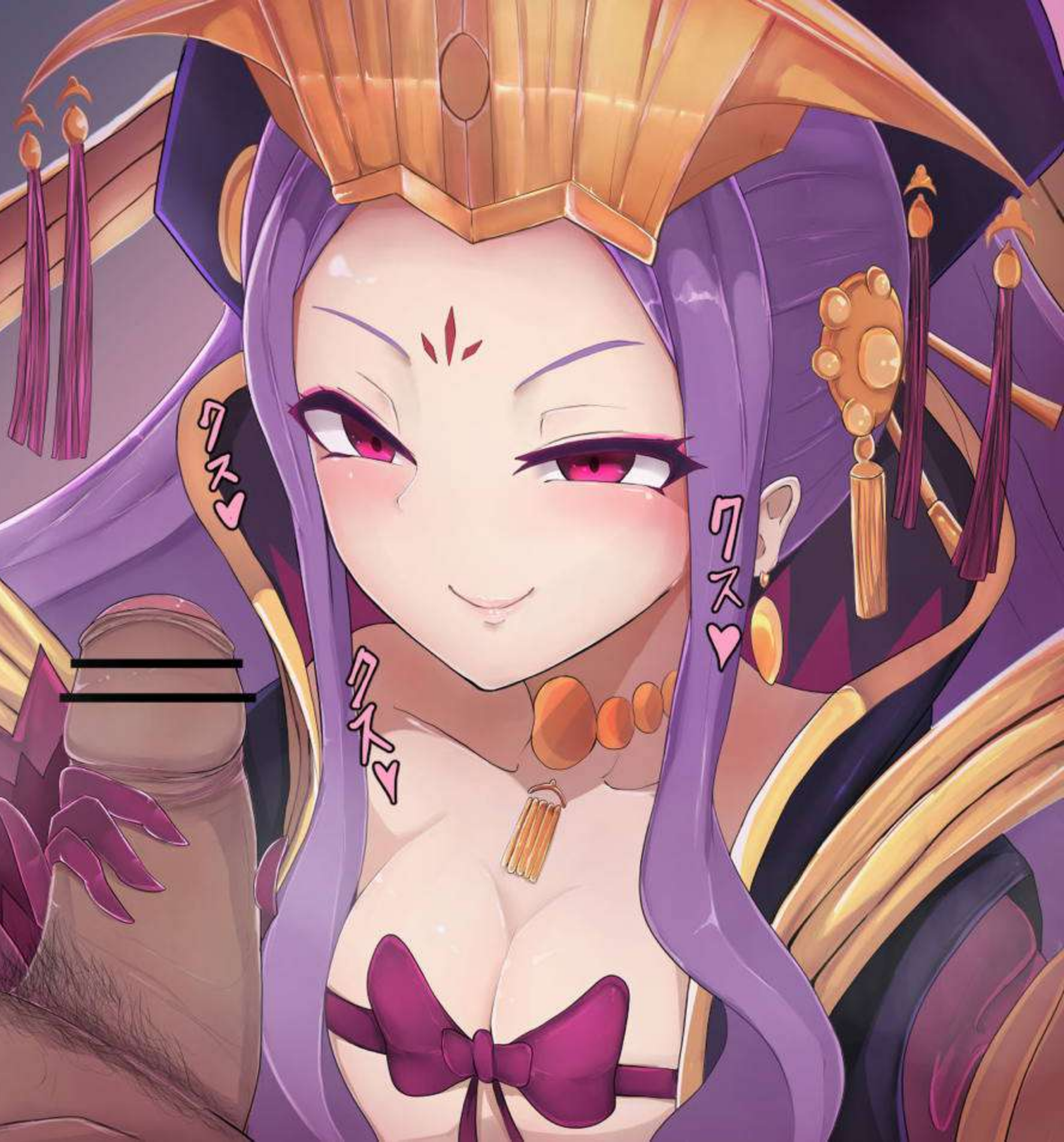
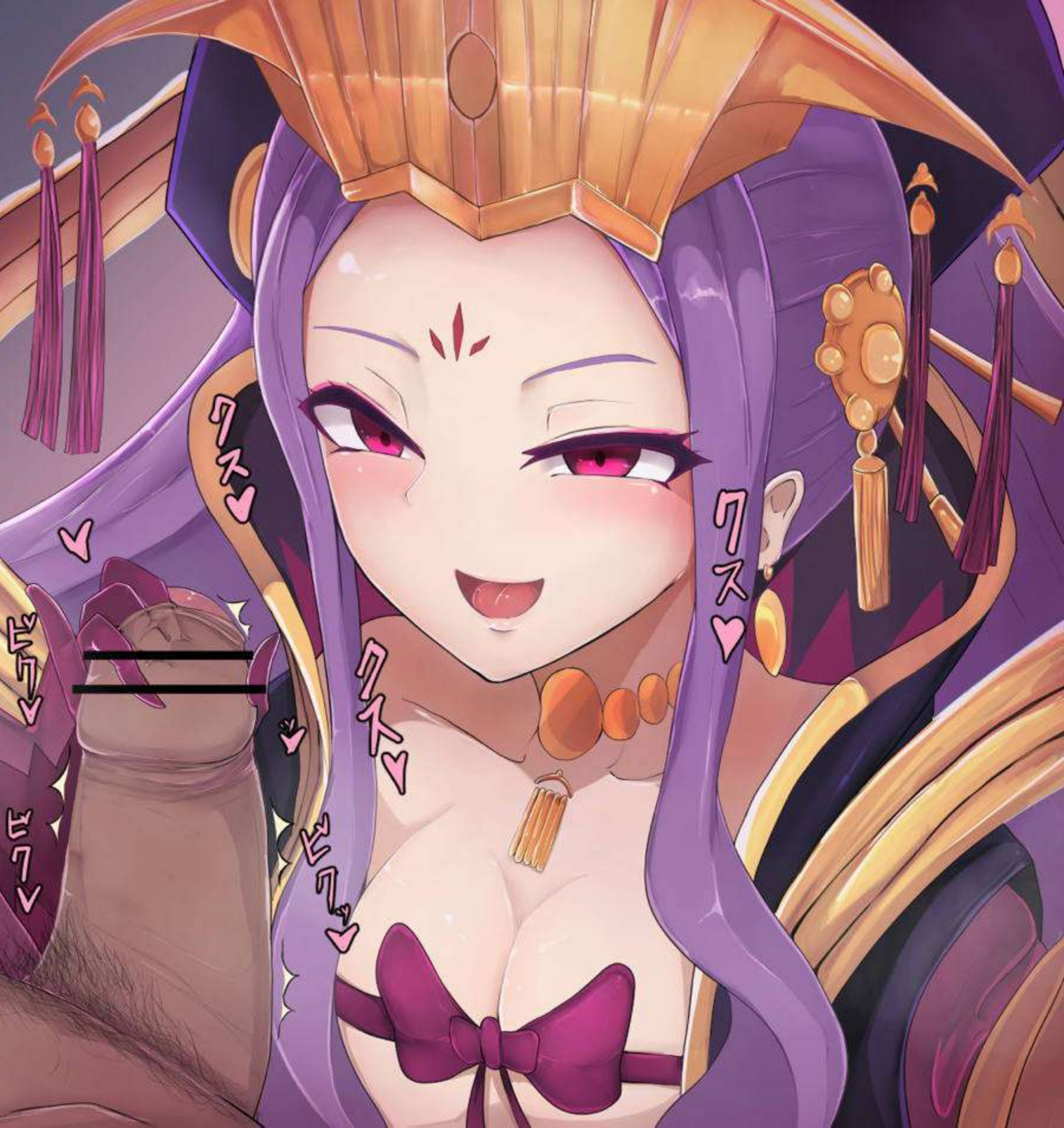


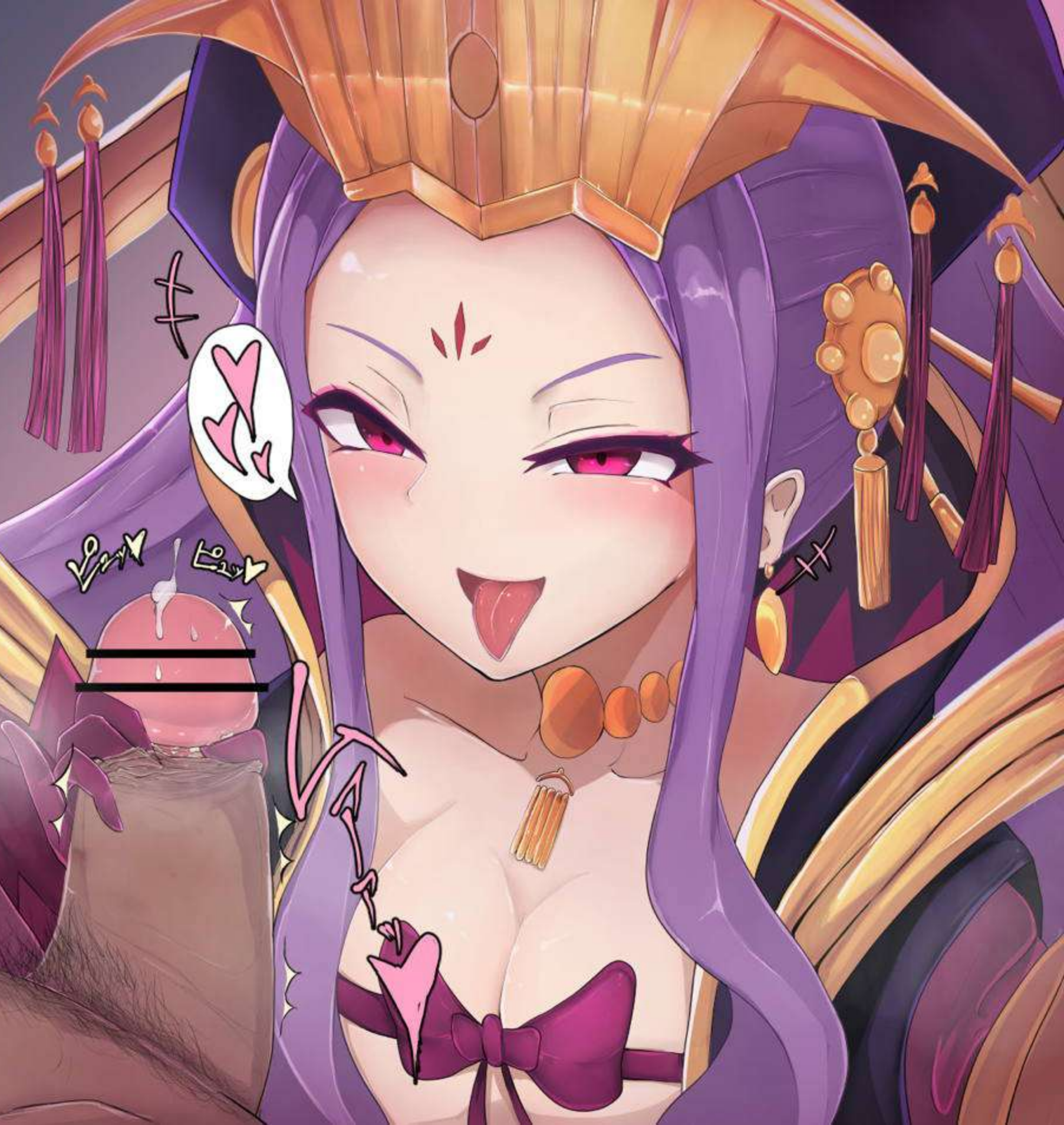
ふふん♡マスターは皮被りなのじゃなあ♡
がちがちに勃起してもまだ被っておる♡
情けないのう…弱弱しいちんぽじゃのう…♡
なんじゃ？妾のせいじゃと…？
…んふふ♡そーかそーか♡
喜べマスター♡妾は今気分が良い♡
特別に、妾がこの粗末なちんぽで遊んでやるう♡



さあて♡まずはこの邪魔な皮をどうにかせねば♡
ほれほれ♡マスターの残念ちゃんぽに
細い指がどんどん入っていくぞ♡
汚い恥垢が皮の中に溜まっておるのう♡
妾の手袋にニオイがこびりついてしまうではないかあ♡
くふふ♡亀頭を撫でるたびにやらしい汁を
吐き出しおって♡妾は許可していかないぞ♡



亀頭丸見えじゃあ〜♡
指輪っか作ってカリ首に引っ掛けられると
射精の事しか考えられなくなるじゃるお♡
ふっふっふ…♡まだじゃ♡まだまだ射精してだめじゃ♡
この溜まった恥垢は妾の舌で直に舐めとってやる♡
妾が良いというまで耐えるのじゃ…♡
ぜーったいに射精してはならんぞお〜♡



ほくれ♡もっと寄るのじゃ♡妾の舌が近いぞ♡
この舌で舐らりたいのかあ？♡
先っちょの我慢汁がぶるぶる震えておる♡
うむうむ♡情けないのう…♡
射精したくてたまらんようじゃな♡
悶絶してる姿をみてるも妾も興奮してきたぞ♡
もう少し可愛がってやろうと思ったが
ふふ…ねっとり舐めてやる♡



こおら♡妾の許可なく漏らしてしまおうとは♡
うむ、仕方のない事じゃ♡聖神皇帝の前では
マスターとして我慢ならなかったようじゃな♡
どーじゃ♡どちらが上か、わかったか♡
くふふ♡これからもたっぷり可愛がって
やろう♡妾への崇拜を忘れるでないぞ♡







